

## 呼吸器外科

### (1) 2年間の初期研修中に習得可能な手技、研修内容

呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科を順に研修し、多くの症例を経験し、外科の基本手技や考え方、患者管理を学ぶことができる。呼吸器外科では胸腔鏡手術中に胸腔鏡画像を見ながら行うので、ポート挿入を研修医が安全に行うことができる。これにより、胸腔ドレーン挿入手技が習得できる。なお、当院では手術の多くを完全鏡視下手術で行っているため、手術参加者全員が同じ画像をみていることから手術内容が理解しやすく、解説もしやすい。呼吸器外科を選択した場合は、肺部分切除術を行えるように指導する。

### (2) 専門医研修へのつながり

京都府立医科大学外科専門研修プログラムの専門研修連携施設であり、京都府立医科大学呼吸器外科に属して専門医研修を行うことになる。したがって、外科専門医に必要な症例経験を積むために、原則的に京都府立医科大学呼吸器外科で研修施設を調整する（複数施設をローテート）が、希望があれば、一定期間当院での研修を行うことができるように、京都府立医科大学呼吸器外科と協議することが可能である。